

牛肉の需給について

1 牛の出荷頭数

(単位：千頭、%)

区分	生産量
23 年 4 月(予測)	102.5 (98)
5 月(予測)	89.0 (97)

(注) カッコ内は前年同月比 (以下同じ)。

(参 考) 黒毛和種、交雑種、ホルスタイン種の出荷頭数

(単位：千頭、%)

区分	黒毛和種	交雑種	ホルスタイン種
23 年 4 月(予測)	45.5 (106)	20.3 (81)	33.6 (100)
5 月(予測)	38.6 (104)	17.5 (80)	30.2 (101)

2 牛肉の輸入量

(単位：千トン、%)

区分	冷蔵	冷凍	合計
23 年 4 月(予測)	16.6 (80)	22.4 (95)	39.0 (88)
5 月(予測)	16.9 (101)	20.8 (108)	37.7 (104)

(注) 部分肉に換算した数量で、煮沸肉、ほほ肉、頭肉は含まない。

<コメント>

- 牛の出荷頭数は、交雑種の減少の影響から前年を下回ると予測する。現在、出荷されている交雑種は、酪農家において後継搾乳牛を確保するため乳用種との交配が進み、出生頭数が減少していることによる。
なお、本予測は、宮崎県下の口蹄疫発生に伴う疑似家畜の処分や東日本大震災の発生の影響を見込んでいない。
- 牛肉輸入量は、豪州産が肉牛の保留傾向の高まり等を背景とした現地価格の上昇、豪ドル高の影響により減少が見込まれるが、一方で、米国産は、高値傾向の豪州産からのシフト等から増加が見込まれる。

(備 考)

- 牛の出荷頭数は、家畜改良センターの牛個体識別情報から、「月齢別・牛の種類・性別のと畜頭数」のデータを用いて、牛の種別の出荷月齢パターンを把握し、「牛の出生年月」をもとに予測。
また、牛肉輸入量は、機構の実施している牛肉輸入動向検討委員会における輸入数量見込みをもとに予測。

お問合せ先：

(独) 農畜産業振興機構

畜産需給部 需給業務課 苅草

TEL 03-3583-9705、FAX 03-3583-8473